

⑦「参加してみよう！」 飼い方相談事業

【お散歩診断】

散歩が苦手、落ち着いて歩けない等、日常の散歩で困っている飼い主対象に専門家から困りごとへの適切なアドバイスをもらいながら、犬も人も安全で楽しく散歩する。雨天時は、飼い主のみの参加で座学の講習を実施。

開催日程：第3木曜日 13:00～14:30

開催場所：共生センター・しあわせの村内いやしの小径等

講師：JAHA認定家庭犬しつけインストラクター 渡辺ひろこ先生

開催日		参加人数	参加犬
第1回	令和5年4月20日（木）	8	4
第2回	5月11日（土）	3	2
第3回	座学 6月8日（木）	5	0
第4回	10月12日（木）	11	8
第5回	11月9日（木）	8	5
第6回	座学 12月14日（木）	7	0
第7回	令和6年3月14日（木）	11	10
合計		53人	29頭



お散歩前の安全確認

首輪が緩すぎないか、散歩時のリードの長さ等の確認を行ってから散歩へ。「距離を取って離れて歩く」等毎回テーマを設けて安全に楽しく散歩ができるよう配慮してもらっている。歩調も全体のペースを見ながら調整していただいている。



休憩タイムのゲームもトレーニングの一環として行われている。

⑦「参加してみよう！」 飼い方相談事業

座学【犬のボディランゲージを学ぶ】



「犬のボディランゲージ」の理解を深めることで、更に飼い主と犬のコミュニケーションがスムーズに図れるようになることを目的に単独で座学講座を開催。犬が発するサインを読み取ることで散歩時だけでなく、日常生活においても、意思の疎通を図ることができ、飼い主と犬との絆が深まる。

《参加者の感想より一部抜粋》

- ・とても参考になった。今日から早速実践したい。
- ・リードの持ち方、体の位置などの指導がとても参考になった。
- ・犬同士の距離の注意、飼い主として犬を全力で守る、周囲の様子に気を配るなど普通の教室とは違う環境、初めて会う犬たちと受講できてとても良かった。

(座学)

- ・犬が居なかったのでじっくりと受けることができ、よく内容を理解できた。
- ・犬のボディランゲージを知って、是非愛犬を見てみようと思う。
- ・早くお散歩に行きたくなった。
- ・先生に各自の質問にコメントいただけてとても嬉しかった。

今年度は、通常「お散歩診断」に加えて、「座学（犬のボディランゲージを知ろう）」も新たに開催した。

「お散歩診断」では、しあわせの村内を散歩しながらその都度先生のアドバイスをいただいた。途中の休憩時間には全員でゲームをするなど、飼い主と犬が楽しみながらしつけを学ぶことが出来た。

また、「座学」では、犬からのボディランゲージをより細かく知ることで、犬の問題行動を減らすことに繋がり、飼い主と犬との信頼関係を構築することで、より犬との生活が楽しいものとなると感じることができた。参加された飼い主の皆さんも、今までわからなかった犬の気持ちを知ることが出来たと喜ばれていた。

⑦「参加してみよう！」 飼い方相談事業

【楽しくしつけを学ぼう～ ドッグスポーツにチャレンジ！】

犬と共に楽しむ活動のひとつであり、基本のしつけをベースに様々な動きを組み合わせ、犬と一緒にダンスにチャレンジしてもらおう。楽しみ方を専門家の先生が丁寧にアドバイスをもらいながら、しつけができていないと感じる飼い主も愛犬と楽しい時間を共有することができるプログラムである。今年度は主に「ふれあい室」で実施。

開催日程：第3金曜日 10:30～12:00

開催場所：ローンホールズ場・共生センターふれあい室

講師：JAHA認定家庭犬しつけインストラクター 高山美佐先生

開催日	参加人数	参加犬
第1回 令和5年5月19日（金）	10	7
第2回 6月16日（金）	12	7
第3回 10月20日（金）	8	7
第4回 11月17日（金）	7	6
合計	37人	27頭



お互いの距離に気をつけながら、ダンスの基本の動きを覚え、様々な動きに発展させていく。



犬は飼い主の顔を見てアイコンタクトを取りながら、課題に取り組む。一緒にできることが増えてくると、しつけを通して共に楽しい時間を過ごせることが実感でき、飼い主のモチベーションも上がっていく。

⑦「参加してみよう！」 飼い方相談事業



一つの動きを覚えたら、また新しい動きを覚える。それを組み合わせていくことで、動きも複雑になってくるが、徐々にダンスへと近付いてくる。



飼い主は動きを覚えて音楽に合わせることに必死だが、犬の方が余裕で動きを覚えている。先生から「最高！」と褒めてもらう。



音楽に合わせて踊るといっても、いきなりどの飼い主も愛犬と一緒に踊れないため、基本のしつけの「オスワリ」「マテ」「オイデ」などが土台となり、様々な動きを組み合わせでダンスへとつなげていく。



《参加者の感想より一部抜粋》

- ・身体を動かして、他の犬とも交流できて良かったです。
- ・犬と共に目標達成したとき、とても嬉しかったです。
- ・最初は気が他の方向に向いているので、どうなるかと心配したが、最後の方はちゃんと参加できてよかった。
- ・犬だけでなく、私の頭のトレーニングになりました。リードを離すのはNGとのことですが、動きによってはリードが足にからんでやりにくかった。
- ・新しい環境で、新しい経験が出来て良かったです。

このプログラムで取り入れているドッグダンスは、ケーナイン (K9) フリースタイルと呼ばれ、ドッグスポーツの一種。犬と飼い主がコミュニケーションをとりながら、音楽に合わせて多彩な動きを行う。共生センターでは基本の動きを教えたただきながら、短い音楽に合わせて一緒にダンスを行う。普段、音楽に合わせて動くことが無いという飼い主にとっては、犬への指示と同時に音楽に合わせて動くことが最初は難しいが、プログラムが終わる頃には音楽に合わせてダンスを行うことが出来るようになることで、達成感を味わうことができる。基本的なしつけを学びながら愛犬との絆を深めていくことができ、これまで経験したことのない新しいことにもチャレンジできる場があることを引き続き発信していきたい。

⑦「参加してみよう！」身体障害者補助犬の普及啓発事業

【教えて！介助犬】

身体障害者補助犬法に基づく身体障害者補助犬（盲導犬、介助犬、聴導犬）に対する社会的理解を進める。基本的な取り組みの方針として、障害のある人もない人も、共に幸せに暮らすことができる「誰も取り残さない」社会の実現を目指しつつ事業運営の応援を行い、身体障害者補助犬の普及啓発に貢献する。

開催日程：土・日・月曜日 14:00～15:00

開催場所：共生センターふれあい室

協力：認定特定非営利活動法人兵庫介助犬協会

開催日		参加人数
第1回	令和5年 4月23日（日）	19
第2回	5月27日（土）	5
第3回	6月 5日（月）	16
第4回	11月5日（月）	18
第5回	令和6年 2月17日（土）	4
第6回	3月20日（祝・水）	16
合 計		78人



介助犬は身体障害者補助犬の中でもまだまだ認知度は低い。



介助犬と書かれたマントを着たらお仕事とわかるようになっている。「これを着ているときはお仕事なので話しかけたり触れたりしないようにしてください」と説明がある。

⑦「参加してみよう！」身体障害者補助犬の普及啓発事業



身体障害者補助犬（盲導犬、聴導犬、介助犬）についての説明。



訓練は厳しいのではという質問が多いが、「ルールのある遊びが基本」と説明していただいた上で、普段の訓練の様子を再現。



障害者が靴を履いて脱ぐこと一つ取っても大変時間がかかる。この介助があることにより外出にも意欲的となる。



プログラム終了後は、参加者の方との触れあいの時間を設けている。

《参加者の感想より一部抜粋》

- ・初めて介助犬を近くで拝見しました。
- ・人がたくさんいても、ぐっすり寝ている姿にびっくりした。
- ・介助犬・盲導犬の区別もよくわからなかったが、介助犬というものがよくわかった。
- ・こんな犬がいるんだなあと思った。

身体障害者補助犬の種類、それぞれの補助犬が果たす役割なども丁寧に解説していただき、参加された方からは補助犬に対する理解が深まったと感想があった。今年度は日曜日など休日に開催するなど参加者も参加しやすい日を設定することで、家族連れなど、子どもさんも一緒に参加されることが多かった。介助犬への認知度はまだまだ十分とは言い切れない。このプログラムを通して少しでも多くの方に介助犬・補助犬について知ってもらうことが出来るよう、来年度も引き続き介助犬プログラムを開催する。

⑦ 「参加してみよう！」 防災関連

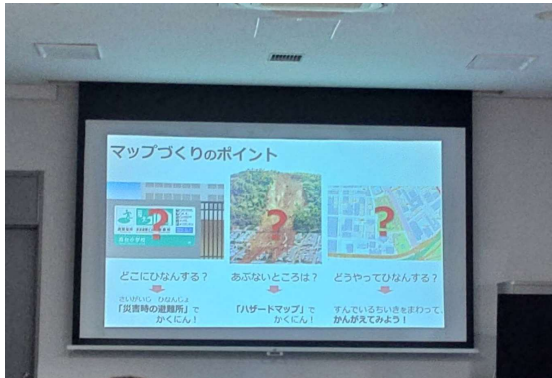
令和5年度は、「ペットとの災害避難マップ」の作り方と併せて神戸市の展示会への応募、「小学生のぼうさい探検隊マップコンクール」への応募について説明会を2回実施した。

【協力】 あいおいニッセイ同和損害保険株式会社
こども本の森 神戸

開催日時：令和5年9月18日（月・祝）14:00～16:00

開催場所：こども本の森 神戸

参加人数：子ども4名 保護者5名 計9名



「こども本の森 神戸」は建築家・安藤忠雄さんの寄附で誕生し、こどもたちが命の大切さを学び、豊かな感性と創造力を育む場を創ることを目的に開館した図書館で、阪神・淡路大震災の慰霊と復興のモニュメントが設置されている神戸市の東遊園地に設置されている。今回は1回目の説明会の会場としてご協力いただいた。

2017年に市民の安全・安心等4分野で神戸市と包括連携協定を締結され、神戸市人と猫との共生に関する条例に基づき設置されている「神戸市人と猫との共生推進協議会」の一員として、日頃から人と猫が共生する社会の実現のために協力いただいているあいおいニッセイ同和損害保険株式会社様には、説明会において、マップ作成を進めるにあたっての安全確保やケガに対する補償（保険の見直し）、「ぼうさい探検隊マップコンクール」への応募の仕方の説明等にご協力いただいた。

当日は読売新聞社が取材のため来訪され、翌日の朝刊に掲載された。

開催日時：令和5年9月24日（日）14:00～16:00

開催場所：共生センター ふれあい室

参加人数：子ども3名 保護者2名 計5名



あいおいニッセイ同和損害保険株式会社
神戸支店 支店スタッフ 担当次長 和田様
「普段歩いている街には、気づいていない危険な場所があるかもしれません。自分の街ではどんな危険が想定されるか、保護者の皆様もお子さんと一緒に探検してください」

神戸市健康局環境衛生課 今田係長
「大雨のときに増水するような川が近くにないか、地震で倒壊するような塀がないかなど、ご家族と一緒に危険な場所がないかを確認しながら、安全な避難ルートを探してみてください」

⑦「参加してみよう！」防災関連

神戸市の「ペットとの災害避難マップ」展示会へ2点の応募があり、表彰式は防災わんにゃんフェスタの中で執り行った。

【協力】 あいおいニッセイ同和損害保険株式会社

開催日時：令和6年1月21日（日）13:00～13:30

開催場所：こうべ動物共生センター ふれあい室

参加人数：子ども4名 保護者2名 計6名



「しのたま探検隊」様には、あいおいニッセイ同和損害保険株式会社神戸支店様より「あいおいニッセイ同和損保賞」が、「maedaキッズ」様には、神戸市より「こうべ動物共生センター長賞」が贈られた。

同時に「第20回小学生のぼうさい探検隊マップコンクール」にも応募されたところ、全国の小学校や子ども会など658団体から8,904人が参加されたこのコンクールで、1,708の応募作品の中から、「しのたま探検隊」様、「maedaキッズ」様が共に、佳作に選ばれた。

ペットとの災害避難マップ2023年度公募作品

(左) maedaキッズ様

(右) しのたま探検隊様



「災害時のペットとの避難ガイドライン」公開から説明会まで広報に時間的余裕がなかったため応募数は少なかったが、「ペットとの同行避難」の視点が他になく、全国規模のコンクールで入賞の実績ができた。令和6年度は余裕を持って告知を行い、説明会だけでなく作成会も実施し、より多くの市民に参加してもらえよう努める。